



■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版

[使用評価ソフト: CASBEE柏2014(v.3.01)]

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)柏の葉キャンパス134街区 新築	階数	地上5F
建設地	千葉県柏市	構造	S造
用途地域	準住居地域	平均居住人員	135 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年7月27日
敷地面積	3,781 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	2,062 m ²	確認日	2016年8月8日
延床面積	7,671 m ²	確認者	阿部晃久



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.5**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア= 0.0</p>	<p>Q2のスコア= 3.0</p>	<p>Q3のスコア= 3.8</p>

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.4**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア= 3.8</p>	<p>LR2のスコア= 3.2</p>	<p>LR3のスコア= 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>物販店舗、自走式駐車場併用型の建築物であるが、地域溶け込みかつ環境対応を目標に設計した。照明計画はLED照明を基本計画とし、壁面緑化、太陽光発電を搭載しゼロエネルギーを自走式駐車場、外構計画ベースで採用した。</p>	<p>その他</p> <p>駐車場棟・物販棟(カーディーラー)の用途として計画している。壁面緑化、屋上緑化、ポケットパークの形成と中水を利用した散水設備、滝を計画している。また、インターロッキングは保水性が高い仕様の製品を採用</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>施設内の快適性を確保するため、温熱環境(外皮断熱性能)、空気質環境(F☆☆☆☆建材、換気量)の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>施設のサービス性能向上のため、機能性(天井高、建物の維持管理)、耐用性(部材の耐用年数)、信頼性(節水衛生器具)、将来の更新性(設備や空間のプランニングの自由度)に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内環境を向上させるため、防犯性(夜間照明の設置)、温熱環境(燃焼設備不使用)に配慮している。また、敷地内緑化、空間提供(ポケットパーク、遊歩道)を積極的に進めている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建物の断熱を適切に記し、外壁や窓を通しての負荷に配慮した計画としている。LED照明、高効率空調(ガス)を積極的に使用する計画としている。また、太陽光発電を搭載しゼロエネルギーを目指す計画とした。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>省資源への貢献として、水資源(節水型衛生設備)、建材再利用性(材料使用量削減、内装や設備の資材分別容易性、解体時の資材分別容易性)、汚染物質回避(発泡断熱材不使用)に配慮している。また、ポケットパークにつらぎにおいて中水利用とし、植栽育成においても雨</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地外環境への負荷軽減のため、十分な断熱性能や高効率機器の積極的な採用によりLCCO₂排出量削減、周囲への交通負荷抑制(必要量の駐輪・駐車スペース確保)、光害抑制(ガイドラインへの一部適合)に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

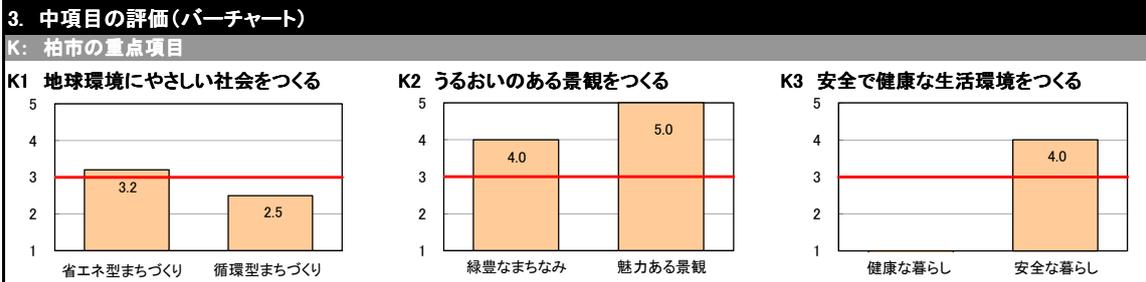


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2014(v.3.01)

1 建物概要		建築物の環境効率 (BEEランク)	A	★★★★★☆☆
建物名称	(仮称)柏の葉キャンパス134街区 新築工事			

2 重点項目への取組み度		重点項目	取組み度※(得点/満点)	評価結果
K1	地球環境にやさしい社会をつくる		2.8 / 5.0	がんばろう
K2	うるおいのある景観をつくる		4.5 / 5.0	すばらしい
K3	安全で健康な生活環境をつくる		4.0 / 5.0	すばらしい
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)		すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <p>高効率設備(ヒートポンプ型空調機・給湯器、LED照明)を採用している。</p> <p>省資源への貢献として、水資源(節水型衛生設備)、建材再利用性(材料使用量削減、内装や設備の資材分別容易性、解体時の資材分別容易性)、廃棄物処理負荷抑制(ゴミの分別・減量化)に配慮している。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 2.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.0 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 4.0 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.7 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 対象外 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 2.8 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 1.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>敷地内環境を向上させるため、中高木を植栽し緑の量を確保するとともに景観に配慮している。</p> <p>植栽によって沿道に緑の連続性を確保するとともに修景に寄与している。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 4.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 4.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 ○ 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 ○
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <p>施設内の快適性を確保するため、空気質環境(F☆☆☆☆建材、換気量、喫煙室からの流煙対策)の向上に努めている。</p> <p>また、バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている。</p> <p>建築基準法に定められた耐震性を有する。</p> <p>また、敷地内環境を向上させるため、防犯性(夜間照明の設置)に配慮している。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 対象外 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 対象外 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 ○